



さらなる「高み」をめざして

校長 有村 哲郎

新入生73人を迎えてスタートした1学期も、いくつもの行事等をやり遂げた喜びや楽しい思い出を残して無事に終わることができました。これもひとえに、保護者や地域の方々の学校教育への温かいご理解とご協力の賜と心から深く感謝申し上げます。

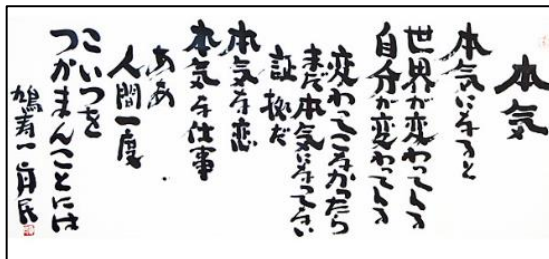
1学期の行事や活動等を振り返ってみますと、様々な行事に生徒一人一人が陵南中生としての自覚を持ち、随所で個性を生かしながら頑張ってくれました。行事等を通して深まった「絆」を大切に、2学期以降も心に残る思い出づくりに取り組み、いじめのない楽しい学校を目指していこうと考えています。

さて、いよいよ夏休みが始まります。今年の夏も暑い日々が続きそうですが、せっかく家庭を中心として過ごすのですから、生徒一人一人が「充実した夏休みだったなあ〜」と思える夏休みにしてほしいと願っています。遊ぶときは思いきり遊ぶ、勉強するときは徹底して勉強する、メリハリが大切だと考えます。また、普段はなかなかできない手伝いなども家族と話し合い、この夏休みは、家庭、集団の一員として「自分にできること」を決めさせ、継続して取り組ませていただきたいと思います。そして、保護者の方にそれを認めてもらえたら、心の「充実」につながると考えます。

夏休みを前に坂村真民氏の「本気」の詩を紹介します。よく「人は死ぬ気になれば何でもできる」と言われます。この「本気」も同様に「本気になればできないことはない」などと使われます。人は「こうなりたい」と目標は立てるのですが、実行となるとなかなかうまくいかないもの、そのときに大事になってくるのがこの「本気」なのです。

私はこの本気について次のように考えてみました。勉強を例に挙げると、自分なりに真剣に取り組む、頑張っていると思っていても結果にあまり表れないとき、それは「本気度」の違いだと思うのです。皆さんの取り組んでいる姿を見て周りの人が、「あなたは最近変わったね。」とか「どうしたの？何があったの？」と聞かれるぐらいの反応があったとき、それが本気になったときだと言えると思います。そうなったとき、これまでとは違う何かが見えてくるのではないかと思います。これは部活動でも生活態度でも同じことが言えると思います。

「本気」になることで、「Chance」が到来し、それに「Challenge」し、そしてこの夏「Change」できることにつながると思います。この夏「本気」になり、さらなる「高み」をめざして様々なことに取り組んで欲しいと願っています。



ジオガイド体験学習（6/25）

1年生がえびの高原池めぐりコースを散策しながらの学習を行いました。霧島の火山活動をはじめ、動植物などについて理解を深めることができました。また、7月には、学習の成果を発表しました。



職場体験学習（6/25～27）

3年生が職場体験学習を行いました。職場体験を通して「働くこと」への意識を高めることができました。貴重な体験となったようです。



2年生修学旅行（6/25～27）

2年生が修学旅行で、長崎・佐賀・福岡を訪れました。長崎での平和学習をはじめ、それぞれの旅行地で人や文化に触れながら楽しく貴重な体験をすることができ充実した3日間になりました。



合唱コンクール（7/13）

多くの保護者に見守られながら、合唱コンクールを開催しました。どの学級もこれまで一番の歌声を響かせてくれました。



8月の主な行事

1日 出校日
13～15日 学校閉庁日
21日 出校日
24日 PTA愛校作業
(予備日：31日)

※ 部活動の予定については、各部活動練習計画を確認してください。